



冬の海にご用心！

冬期をむかえ、日本海側は北西寄りの強い季節風が吹き、海上荒天となる日が多くなります。
また、平成28年1月には、発達した「南岸低気圧」の接近・通過により、係留中の漁船35隻が転覆・浸水・漂流する事故が発生しています。

荒天対策は早めの備えが大切です！

- ・海的安全情報を活用するなどして、最新の気象海象情報を確認
- ・沖合いにいる漁船は安全な海域等へ早期避難
- ・港内にいる漁船の場合は係留強化
- ・小型漁船はできる限り陸揚げ、固縛

何事も
早め早めに



漁船セーフティラリーみちのく2018 実施中!!

【期間】平成30年12月31日まで 声かけ運動で漁船の無事故を目指します!!

第二管区海上保安本部 海の安全推進室

宮城県塩釜市貞山通3-4-1
(代表) 022-363-0111
(直通) 022-365-9609



漁船かわら版

検索

平成30年10月に発生した事件事例

事例1

宮城県気仙沼湾内において、操業を終え気仙沼漁港向け航行中の漁船が、かき養殖筏に乗り揚げ、自船スクリューにロープが絡まり動けなくなりました。

事案2

福島県相馬港沖合いにおいて、操業を終え相馬港向け航行中の漁船と、魚釣りのため漂泊していたプレジャーボートが衝突しました。

常時適切な見張りを徹底！

事故を未然に防ぐためには、他の船舶の動向や浅瀬・定置網など、周辺海域の状態を確認し、把握する必要があります。

視覚・聴覚のみならず、その時の状況に適したすべての手段により、常時適切な見張りを徹底しましょう。

～ 海のもしもは118番 ～

海の事件・事故は、海上保安庁緊急通報番号118番へ通報ください

H30 東北地方 漁船事故発生状況（10月末現在）

青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県
6隻	5隻	8隻	3隻	4隻	4隻

死者数：1人